



2023年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 MRT株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6034 URL <https://medrt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 智也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西岡 哲也 TEL 03-6415-5295
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績 (2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,239	△40.5	803	△61.1	829	△59.2	552	△60.2	526	△61.6	551	△60.4
2022年12月期第2四半期	5,445	230.9	2,065	504.7	2,033	502.5	1,389	521.8	1,369	564.2	1,389	498.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	95.55	95.49
2022年12月期第2四半期	245.78	245.54

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	6,931	4,700	4,580	66.1
2022年12月期	8,092	4,484	4,391	54.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2023年12月期	-	0.00	-	-	-
2023年12月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300 ~4,700	△50.8 ~△46.2	800 ~900	△73.1 ~△69.8	800 ~900	△72.8 ~△69.4	550 ~620	△74.8 ~△71.6	535 ~600	△75.2 ~△72.2	96.24 ~108.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	5,715,200株	2022年12月期	5,715,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	271,070株	2022年12月期	141,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	5,509,516株	2022年12月期2Q	5,573,743株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く医療・ヘルスケア業界においては、高齢化社会の進行とともに医療の担い手不足や地域偏在、診療科偏在が課題に挙げられてきました。日本の医療費は40兆円を超え2040年度には約66兆円を見込み、医療費の削減、医師の自己犠牲的な長時間労働により支えられている危機的な状況の改善など、持続可能な医療サービスを実現するための対策が求められてきました。

2020年年明けから感染が拡大した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2023年5月8日以降の5類への移行に伴い、経済活動が活発になる一方で、後遺症への対応や変異株の脅威、感染再拡大の予兆、ワクチン接種の今後の対応など医療課題は継続しています。

このような状況の中、当社は、行政・自治体からの要請によるワクチン接種会場の運営、自宅療養者の健康観察を行うフォローアップセンターや陽性者登録センター、オンライン診療、厚生労働省からの要請によるワクチン接種後の健康状況調査など、様々な行政・自治体の医療体制構築の一助となるべく、現在もなお継続し、情勢の変化にあわせた対応を進めております。

また、医療・ヘルスケアへの関心の高まりと相まって、「健康経営」、「well-being」が注目される中、3月に産業医事業連携を目的とする資本業務提携を締結した株式会社リバランスと共に、分析から治療まで一貫した健康経営支援サービス『Dr.CHECK産業医 Supported by MRT』を6月にリリースいたしました。本サービスにおいて、当社は産業医の募集・配置および「Door.」によるオンライン診療・健康相談の環境整備を担っております。

こうした多くの要望にお応えし医療プラットフォームの拡大していくことにより、5月には、非常勤医師求人紹介サービス「Gaikin」の紹介実績が、累計200万件突破いたしました。

さらに、5月に東南アジア圏の医療DXサービスを展開するメドリング株式会社と資本提携契約を締結、7月に同社の第三者割当増資を引受け、日本で培った医療人材マッチングやオンライン診療などのノウハウを応用し、東南アジア圏の医療向上を目指します。

当社グループは、これまで作り上げてきた医療ネットワークおよびプラットフォーム、サービスを最大限に活用し医療現場の一助となれるよう引き続き尽力してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上収益は3,239,522千円（前年同四半期比40.5%減）、営業利益は803,480千円（同61.1%減）、税引前四半期利益は829,489千円（同59.2%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は526,433千円（同61.6%減）となりました。

また、売上収益の内訳は、医療人材サービス（医師、その他の医療従事者）1,729,456千円（前年同四半期比16.4%減）、その他1,510,066千円（同55.3%減）であります。

(2) 財政状態に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、6,931,233千円となり、前連結会計年度末に対して1,161,320千円減少しました。これは、主に営業債権及びその他の債権の回収により776,374千円減少、法人所得税費用の支払等により現金及び現金同等物が638,480千円減少したことによりです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、2,231,089千円となり、前連結会計年度末に対して1,376,681千円減少しました。これは、主に未払法人所得税が344,486千円減少、消費税等の支払等によりその他の流動負債が665,180千円減少したことによりです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計につきましては、4,700,143千円となり、前連結会計年度末に対して215,361千円増加しました。これは、主に自己株式の取得により168,368千円減少しましたが、特別配当167,217千円を実施したものの利益剰余金が359,215千円増加したことによりです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、4,251,382千円となり、前連結会計年度末に対して638,480千円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果獲得した資金は114,270千円（前年同四半期比96.5%減）となりました。これは、主に法人所得税の支払額が622,387千円、営業債務及びその他の債務が255,613千円減少しましたが、営業債権及びその他の債権が776,374千円減少、税引前四半期利益829,489千円を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は248,778千円（前年同四半期比379.3%増）となりました。これは、主に無形資産の取得55,680千円、その他金融資産取得による支出182,076千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は503,972千円（前年同四半期は163,273千円の獲得）となりました。これは、主に利益剰余金を原資とした配当金の支払額164,742千円、自己株式の取得による支出168,511千円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の通期の連結業績予想につきましては、2023年2月14日に公表しました通期連結業績予想から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,889,863	4,251,382
営業債権及びその他の債権	1,390,856	614,481
棚卸資産	4,611	6,243
その他の金融資産	7,720	25,809
未収法人所得税	18,905	—
その他の流動資産	116,770	149,014
流動資産合計	6,428,728	5,046,932
非流動資産		
有形固定資産	78,359	66,698
使用権資産	169,305	216,134
のれん	576,384	547,551
無形資産	178,591	171,259
その他の金融資産	271,856	481,432
繰延税金資産	387,144	388,361
その他の非流動資産	2,183	12,864
非流動資産合計	1,663,824	1,884,300
資産合計	8,092,553	6,931,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	770,630	446,743
社債及び借入金	516,072	483,864
リース負債	121,984	121,099
その他の金融負債	92,959	110,585
未払法人所得税	622,466	277,979
その他の流動負債	1,076,050	410,870
流動負債合計	3,200,163	1,851,143
非流動負債		
社債及び借入金	175,278	95,500
リース負債	62,528	106,356
その他の金融負債	40,233	40,497
退職給付に係る負債	92,436	100,443
引当金	37,130	37,149
非流動負債合計	407,607	379,946
負債合計	3,607,771	2,231,089
資本		
資本金	432,115	432,155
資本剰余金	344,569	344,510
利益剰余金	3,912,529	4,271,745
自己株式	△121,119	△289,487
その他の資本の構成要素	△176,682	△178,420
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,391,413	4,580,502
非支配持分	93,368	119,641
資本合計	4,484,781	4,700,143
負債及び資本合計	8,092,553	6,931,233

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	5,445,096	3,239,522
売上原価	△2,133,860	△1,241,948
売上総利益	3,311,236	1,997,573
販売費及び一般管理費	△1,246,828	△1,178,924
その他の収益	1,182	17,243
その他の費用	△30	△32,411
営業利益	2,065,559	803,480
金融収益	4	29,797
金融費用	△32,463	△3,789
税引前四半期利益	2,033,100	829,489
法人所得税費用	△643,258	△276,783
四半期利益	1,389,842	552,705
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,369,888	526,433
非支配持分	19,953	26,272
四半期利益	1,389,842	552,705
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	245.78	95.55
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	245.54	95.49

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	1,389,842	552,705
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融資産	—	△1,694
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	△1,694
税引後その他の包括利益	—	△1,694
四半期包括利益	1,389,842	551,011
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,369,888	524,738
非支配持分	19,953	26,272
四半期包括利益	1,389,842	551,011

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2022年1月1日時点の残高	432,075	344,457	1,751,521	△121,074	△184,643	2,222,336	70,939	2,293,276
四半期利益			1,369,888			1,369,888	19,953	1,389,842
その他の包括利益						—		—
四半期包括利益合計	—	—	1,369,888	—	—	1,369,888	19,953	1,389,842
自己株式の取得				△45		△45		△45
所有者との取引合計	—	—	—	△45	—	△45	—	△45
2022年6月30日時点の残高	432,075	344,457	3,121,410	△121,119	△184,643	3,592,180	90,893	3,683,073

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2023年1月1日時点の残高	432,115	344,569	3,912,529	△121,119	△176,682	4,391,413	93,368	4,484,781
四半期利益			526,433			526,433	26,272	552,705
その他の包括利益					△1,694	△1,694		△1,694
四半期包括利益合計	—	—	526,433	—	△1,694	524,738	26,272	551,011
新株の発行	40	84			△44	80		80
自己株式の取得		△143		△168,368		△168,511		△168,511
配当金			△167,217			△167,217		△167,217
所有者との取引合計	40	△59	△167,217	△168,368	△44	△335,649	—	△335,649
2023年6月30日時点の残高	432,155	344,510	4,271,745	△289,487	△178,420	4,580,502	119,641	4,700,143

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,033,100	829,489
減価償却費及び償却費	86,185	98,402
減損損失	—	28,832
金融収益	△4	△29,797
金融費用	32,463	3,789
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	690,941	776,374
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,043	△1,631
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	586,826	△282,124
その他	323,917	△701,946
小計	3,752,387	721,388
利息及び配当金の受取額	4	26
利息の支払額	△4,749	△3,662
法人所得税の支払額	△509,533	△622,387
法人所得税の還付額	2,917	18,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,241,026	114,270
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,766	△10,932
無形資産の取得による支出	△40,480	△55,680
その他の金融資産の取得による支出	—	△182,076
その他	△660	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,907	△248,778
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	—
長期借入れによる収入	150,000	—
長期借入金の返済による支出	△101,674	△82,203
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
リース負債の返済による支出	△55,007	△58,595
株式の発行による収入	—	80
自己株式の取得による支出	△45	△168,511
配当金の支払額	—	△164,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	163,273	△503,972
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,352,392	△638,480
現金及び現金同等物の期首残高	1,013,281	4,889,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,365,674	4,251,382

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第1号	財務諸表の表示	重要な (significant) 会計方針ではなく、重要性がある (material) 会計方針の開示を要求する改訂
IAS第8号	会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬	会計方針と会計上の見積りとの区別を明確化
IAS第12号	法人所得税	単一の取引から生じた資産及び負債に係る繰延税金の会計処理を明確化

上記基準書の適用による要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年3月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式130,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が168,368千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が289,487千円となっております。

(セグメント情報)

当社グループは、医療情報プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(後発事象)

該当事項はありません。